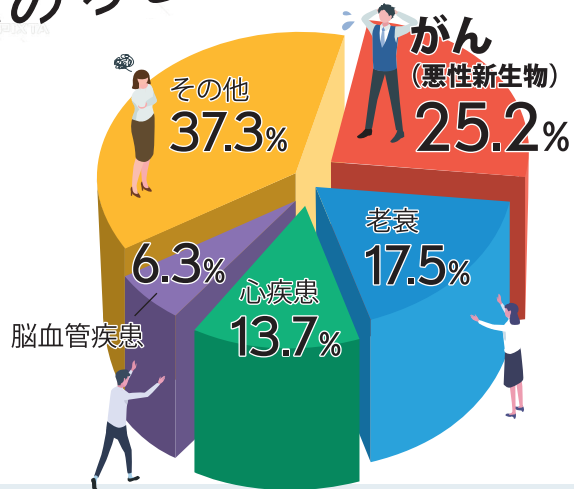


早期発見・  
早期治療で、  
あなたとあなたの家族のいのちを守るために。

知っていますか？

実は…がんは、四日市市民の  
**死亡原因の第1位**  
(令和4年度 四日市市死亡割合)

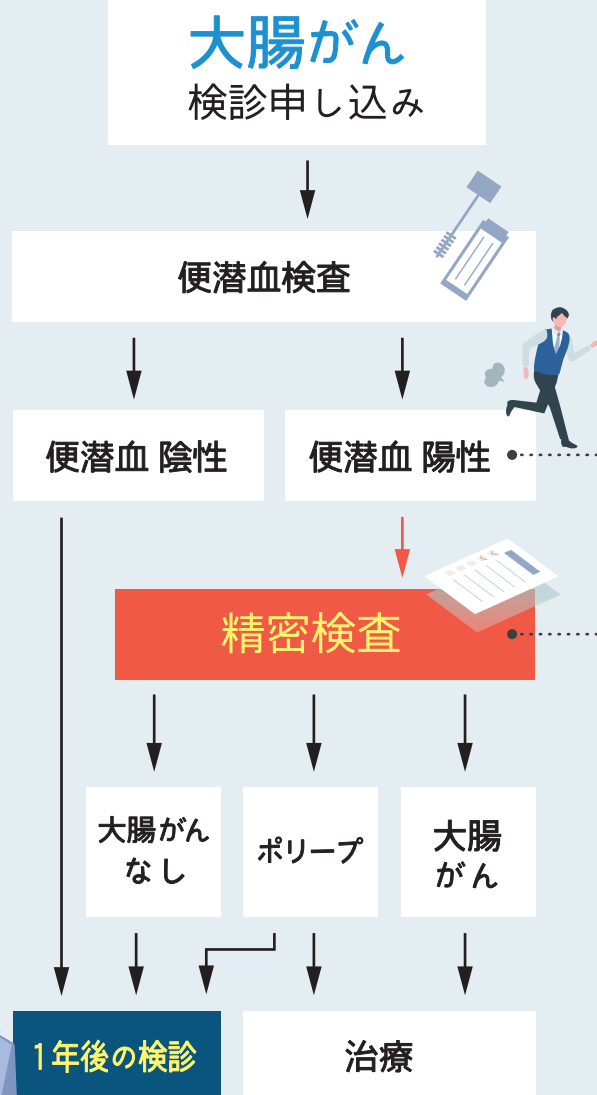


自覚症状がないから…、痛そうだから…「大腸がん検診」って？

まずは、**大腸がんを知るう!**

- 日本では罹患する人が増加しており、**がんによる死亡原因の上位に位置するがん**です。
- 大腸がん検診で早期に発見して治療することにより、大腸がんで亡くなることを防ぐことができます。**検診は自覚症状がないうちに受けることが大事**です。
- 大腸がん検診は**40歳になったら毎年、便潜血検査を繰り返し受けてください**。ただし、血便、腹痛、便の性状や回数に変化したなどの症状がある場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。
- 大腸がん検診には**利益(大腸がんで亡くなることを防ぐ)と不利益(偽陰性、偽陽性など)**があります。偽陰性とは実際にはがんがあるのに見つけれないこと、偽陽性とは実際にはがんでないのに「要精密検査」と判定されることです。**利益が不利益を上回るように受けることが大事**です。
- 大腸がん検診で「**要精密検査**」となった場合は、**大腸がんの疑いがありますので、必ず精密検査を受けてください**。

大腸がん検診の流れ



ポリープが見つかった時には状態(大きさや、形態)によって治療を行う場合と、微小ポリープなど、治療をせずに次の検診に進む場合があります。

必ず受けてください!  
精密検査の重要性

大腸がん	胃がん	乳がん	子宮頸がん	肺がん
検診方法や判定後の流れについて	検診方法や判定後の流れについて	検診方法や判定後の流れについて	検診方法や判定後の流れについて	検診方法や判定後の流れについて

がん検診で要精密検査と診断された場合、精密検査の受診が必要となります。精密検査は、検診の結果に応じて、内視鏡カメラなど別途検査を実施します。ご年齢や身体状況によっては、精密検査に伴うリスクが生じる恐れがありますので、ご心配な人は、「がん検診」受診前に医師とよく相談し、精密検査の実施の可否を含めてがん検診を受診するようにしましょう。

大腸がん検診で要精密検査と診断された場合…

STEP 1 必ず精密検査を受診

大腸がんがあっても症状が出ないことはよくあります。「症状がないから大丈夫」などと自己判断せず、必ず精密検査を受けてください。また、便潜血検査が毎回陽性になるわけではないので、もう一度便潜血検査をするのは良くありません。一度陽性の反応が出たら、必ず精密検査を受けてください。

STEP 2 まず最初に行うのは、全大腸内視鏡検査

全大腸内視鏡検査

下剤で大腸を空にした後に、肛門から内視鏡を挿入して直腸から盲腸までの全部を観察し、がんやポリープなどがいないか調べます。必要に応じて組織を採取し悪性かどうか診断します。

※この検査では、内視鏡による出血や穿孔などのリスクがあります。

大腸のX線検査(大腸内視鏡との併用法)

大腸全体を内視鏡で観察することが困難な場合には、内視鏡が届かない奥の大腸をX線検査で調べます。下剤で大腸を空にした後に、肛門からバリウムを注入し、空気で大腸をふくらませて、大腸全体のX線写真を色々な方面から撮影します。

※この検査では下剤の使用による腸管穿孔や腸閉塞などのリスクがあります。

「大腸がん検診」を受けましょう!

**40歳になってから、1年に1回、便潜血検査を繰り返し受けることで、大腸がんで亡くなることを防ぐことができます。**

大腸がんの中には急速に進行するがんもあります。早期発見のために必ず毎年、繰り返し検診を受けてください。血便、腹痛、便の性状や回数に変化した、などの症状が続く場合には次の検診を待たずに医療機関を受診してください。